

科目ナンバリング		U-LAS00 20014 SJ34							
授業科目名 <英訳>	科学論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Philosophy and History of Science				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 青山 拓央			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	哲学・思想(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>哲学と科学に興味があり、かつ、文章を読みながら「議論する」ことについて深く学びたい学生に向けて、ディスカッション中心の授業を行います(単位取得には積極的な発言が必要です)。 教科書の文章をクラス全体で精読するほか、各回の担当者を選定し、担当者による司会進行のもとで、ディスカッションを実施します。</p>									
[到達目標]									
文章精読とディスカッションの技術を学ぶとともに、哲学的・科学的観点から新たな知見を獲得する。									
[授業計画と内容]									
<p>第1回：授業についてのガイダンスを行なう。 第2回：教員による司会進行と解説のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。 第3回～第14回：各回の担当者による司会進行のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。適宜、教員による解説を挟む。 第15回：フィードバック</p>									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
各回の授業におけるディスカッションへの参加度と、担当者としての発言内容をもとに、成績評価を行なう。(詳細は講義のガイダンスにて説明します。)									
[教科書]									
青山拓央『哲学の問い』(ちくま新書, 2024年) ISBN:978-4480076328									
[参考書等]									
(参考書) 授業中に紹介する									
[授業外学修(予習・復習)等]									
各回のディスカッション内容を振り返ることで、自分の担当回ではどのように司会進行を行なうかを考えておく。									
[その他(オフィスアワー等)]									
ゼミナール形式であることをふまえ、受講希望者多数の際は、受講制限をすることがあります。活発な議論への参加を期待します。									
[主要授業科目(学部・学科名)]									
総合人間学部									